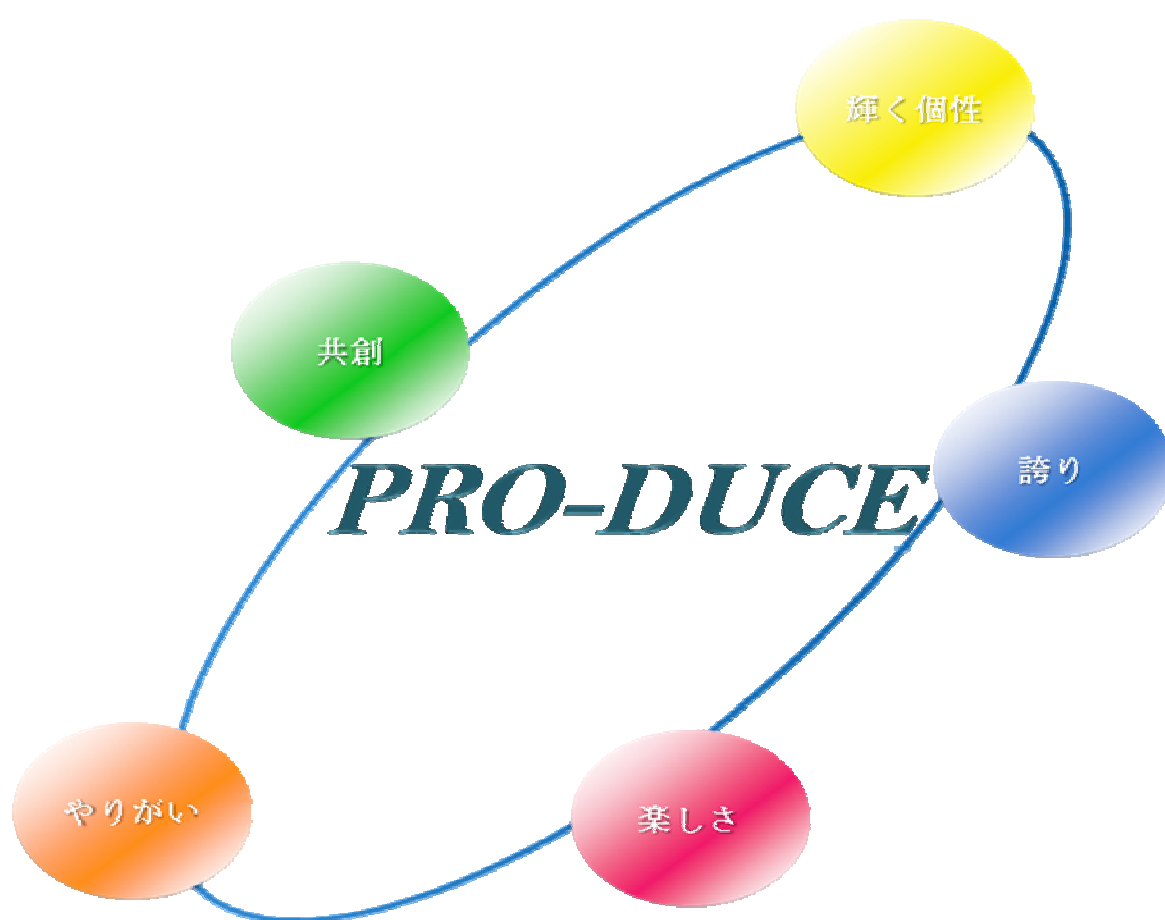


新しい価値を創造できる

東京工業大学事務職員として



国立大学法人東京工業大学

2008年3月

はじめに

東京工業大学の使命

大学は、「学術研究を創造・発展し、社会の各分野で必要とされる優れた人材を育成することにより、社会、経済、文化等のあらゆる面における充実・発展に貢献」する使命を担っています。特に、天然資源に恵まれない我が国において、知的資源、人的資源が最大の財産であることから、大学の存在意義は大きく、その使命を達成していくことは、我が国の発展にとって極めて重要です。

そして、21世紀、世界は「知識基盤社会」の時代を迎えました。新たな知の創造・継承・活用が社会の発展の基盤となる「知識基盤社会」においては、大学が先見性・創造性・独創性に富み卓越した人材を輩出することがより大きな責務となりつつあります。

東京工業大学は、これまで幾多の優秀な人材を輩出し、輝かしい研究実績をあげており、「創造性豊かな人材の育成」と「知の創造と活用」を実践してきました。本学はこれからもその実力を存分に発揮して、社会を牽引する人材を育成し、世界をリードする知を創造し続ける使命を担っています。

東京工業大学事務職員の使命

大学に対する社会的要請の多様化と期待の高まりに伴い、国立大学は法人化し、政府に庇護される時代から自己責任と自主性を求められる時代となりました。つまり、国立大学は政府が示す情報やシグナルにいかに関調するかに重きを置くのではなく、自ら企画立案し、意思決定を行うなどこれまでと根本的に異なる発想で大学運営にあたらなければなりません。また、社会に対して積極的にアピールすることや説明責任を果たしていくことが重要になってきています。

これに応じて、事務職員も大きく役割を変えなければなりません。法人化以前は、文部科学事務官として、教育研究の支援や教員のサポート役にとどまっていましたが、法人化後は、保障された国家公務員としての意識から脱却して、国立大学法人の職員として、企画立案、情報収集・分析、問題解決等を主体的・積極的に推進し、責任ある大学運営を担うことが求められるようになっていきます。

とりわけ、「世界最高の理工系総合大学」の実現を標榜する東京工業大学においては、事務職員は、プロ(PRO)としての意識をもって、それに相応しい卓越した教育研究環境を支え創造すること、そして高品質の教育研究力を世界に発信し本学のブランド力を高めることが求められています。つまり、東京工業大学事務職員は、「世界最高の理工系総合大学」の実現を PRO-DUCE することが使命となるのです。

その使命を理解した職員ひとりひとりが最大限の力を発揮し、大学力の最大化に向けて行動できるよう、東京工業大学事務職員の「理念」と「求める事務職員像」をここに掲げます。

東京工業大学 事務職員理念

東京工業大学事務職員は、

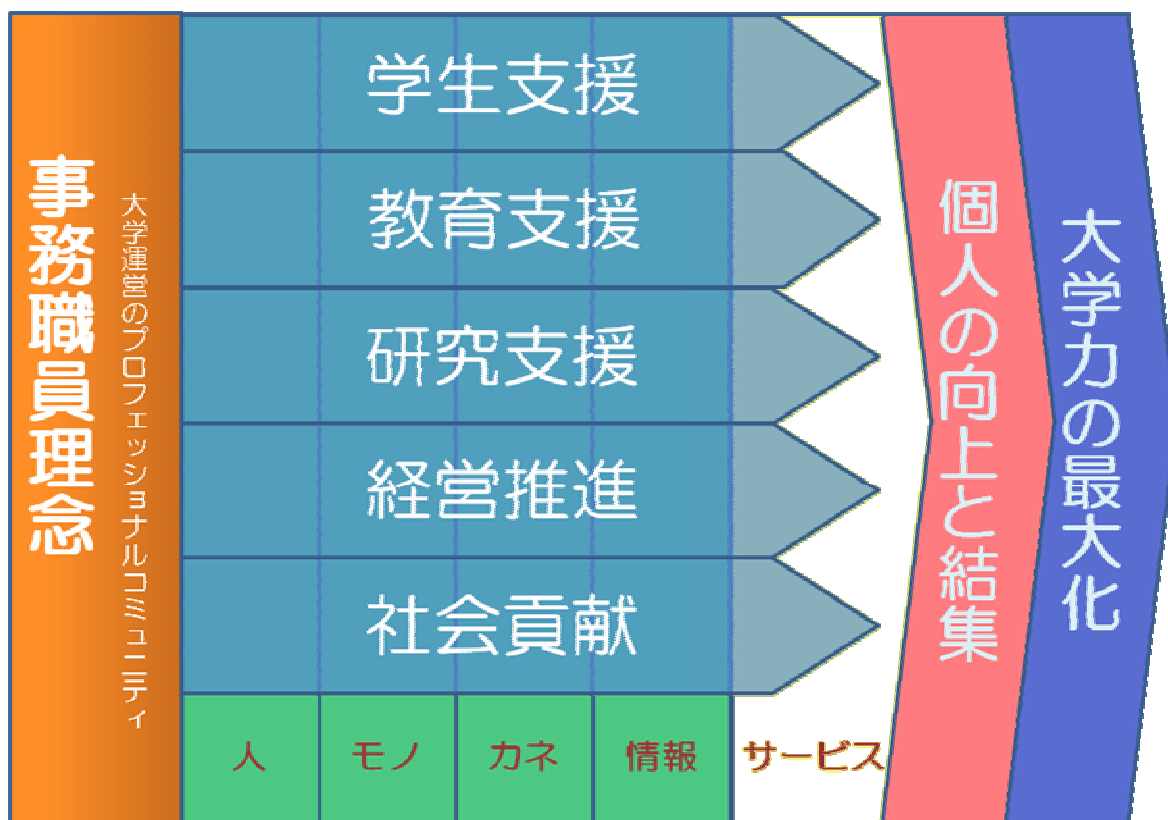
"大学運営のプロフェッショナルコミュニティ"を形成します。

そのために

- 自らよく考え、積極的に行動します。
- 常に個人と大学が相互に成長することを追求します。
- 誰からも信頼される姿勢を示します。

これらの理念に基づき、大学の財産である「人・モノ・カネ・情報・サービス」を最大限活用して、学生支援、教育支援、研究支援、経営推進、社会貢献において積極的に役割を果たします。

～職員ひとりひとりの力が大学の力へ～



学生支援：画一的な対応ではなく、学生の立場に立ったきめ細かな対応を行う

教育支援：教職員の連携を強め、教育方法を検討し教育効果を高める

研究支援：外部資金獲得への協力、よりよい研究環境を創造・提供する

経営推進：教職員が安心して働ける職場づくりを行い、時代の変革に沿ったあらゆる改善に取り組む

社会貢献：社会とのつながりを意識し、社会への還元につなげる

東京工業大学が求める事務職員像

～新しい価値を創造できる職員～

東京工業大学がフロンランナーであるためには、職員が知識でも笑顔でも「これなら負けないぞ」という“キラリと”輝く何か”を身につけ、新しい価値を創造できることが大切です。

○自己研鑽に励む職員

新しいものを創るためには、まずは学習・習得することが必要です。向上心をもって知識習得や能力向上に励みます。

○広く多角的な見方ができる職員

解答や方法は1つではありません。物事を大局的に見つめ、正しい判断、新たな発見ができる職員をめざします。

○環境の変化に順応できる職員

本学を取り巻く環境は絶えず変化しています。現状に満足するのではなく、状況の変化に的確、迅速かつ柔軟に対応できる職員をめざします。

○経験と知恵を未来の糧にできる職員

これまでできなかったことでも、これからできることがあります。目標に向かって常に挑戦し、その経験と知恵を将来につなげることでできる職員をめざします。

○良好な人間関係を築ける職員

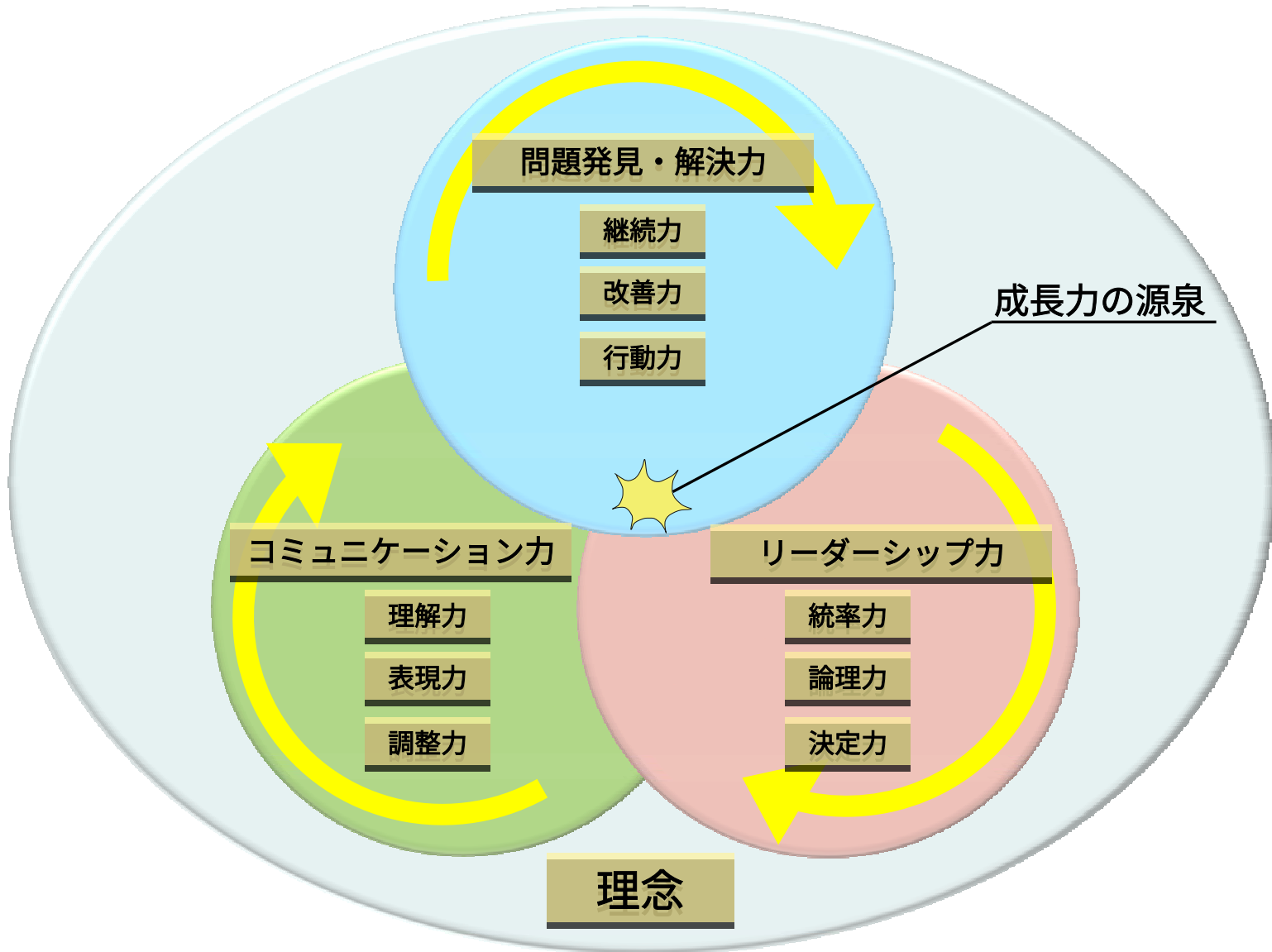
他者と連携することで、より多く、より大きい成果を得ることができます。様々な考え方、志向性を認め、相手の立場に立って行動します。

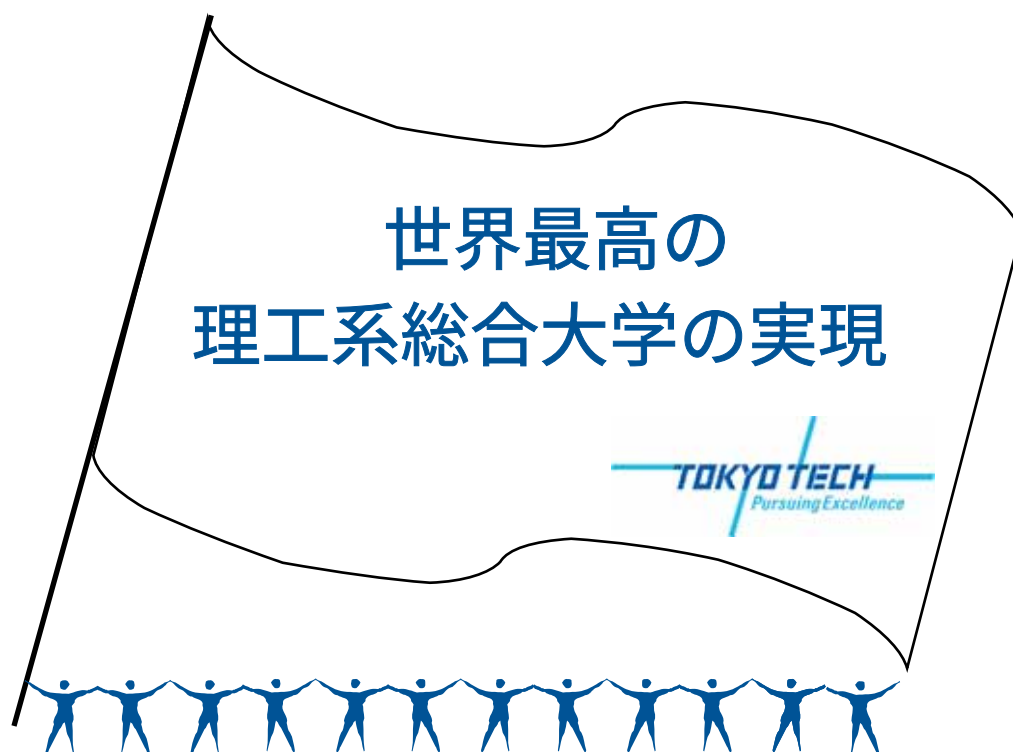
東京工業大学が求める“新しい価値を創造できる事務職員”は、コミュニケーション力、リーダーシップ力、問題発見・解決力といった力をあわせ持っています。

そして、これらの「東工大事務職員力」を修得・向上させます。

「東工大事務職員力」の構成は、次ページのように表すことができます。

東工大事務職員力の概念モデル





国立大学法人東京工業大学

東京都目黒区大岡山2丁目12番1号